

# 保健センターに看護師などを派遣

## 11月定例会 追加補正予算

市民運動と連携した、日本共産党市議団の論戦で、PCR検査と追跡体制の強化として「保健センターで新型コロナウイルス感染症の疫学調査・自宅療養者等の健康観察体制の強化に看護師等を配置」することになりました。

## 面的なPCR検査実施と体制強化を要求

日本共産党名古屋市議団は、これまで「感染急増地域での関係者全員を対象にしたPCR検査の実施」「病院高齢者施設などでの検査実施」を求めてきました。

名古屋市は、10月の3日間、栄繁華街の地域を特定して無症状者を含めPCR検査を実施。11月には無症状の従業員のPCR検査を前提とする「協力店認定制度」を創設しました。

11月議会では江上博之議員の質問に健康福祉局長は「必要に応じてPCR検査等を受けられる体制の構築に努めたい」「これまでも当該施設の入所者及び従業員全員に検査を実施した事例もあり、柔軟に検査対象を

拡大して検査を実施している。今後も適切な範囲で調査を行い、必要に応じ検査につなげたい」とこたえました。

江上議員はさらに、陽性者や濃厚接触者を保護・追跡調査するための人員の確保を求めました。

局長は「感染拡大時にも迅速かつ的確に対応できるよう、体制の強化を検討したい」と答弁しました。

質問後、市は、各保健センターと感染症対策室に事務職を各1人と看護師58人の75人を配置することを決めました。



## コロナ時代にこそ 少人数学級の拡大を

9月議会で、さいとう愛子議員は、あらためて少人数学級についての認識を教育長にたずねました。

教育長は「6月定例会において答弁させていただいたとおり、慎重に判断する必要があると認識している」「国の動向については、今後も注視して参ります」とこたえました。



さいとう議員は「国の動向を注視するだけでなく、コロナ時代の今こそ、少人数の学級編成とそのための教員の増員を国に強く求めていただきたい」と要望しました。

## 小中学校の統廃合計画は見直しを

さいとう議員は天白区の高坂小としまだ小の統合についても質問。

「コロナ時代には高坂小のような20人程度の学級編成となる学校が理想であり、密な学級にしてしまう統廃合計画は逆行するものではないか」「高坂小をしまだ小に統合する計画について、教育長は高坂小の保護者や地域住民の十分な理解が得られているとおこたえになりませんでした。このもとで、統合ありきで、話をすすめるのは問題です」と計画の見直しを求めました。

## コロナ危機の下で、市民の命と暮らし、営業を守る役割を

9月議会で、さはしあこ議員が、2019年度決算認定案に対する反対討論を行いました。

コロナ禍で求められているのは、医療や介護、保育や教育など、人が人を支えるケアに手厚い市政だと指摘。金持ち減税ではなく、市民の命と暮らしを守り、支える体制のために、金持ち優遇の市民税減税は真っ先に見直すべきです。



コロナ禍をきっかけに都市間の移動やまちづくりのあり方などみなおされつつあります。必要なのは、空港での水際対策・感染防止の強化です。旅客数が激減している中部国際空港の二本目滑走路建設は急ぐ必要はありません。

リニアを前提とした名古屋駅前開発は、関係事業者との費用分担すら不明のままです。コロナ危機を踏まえ、一極集中より地域で自立できるまちづくりこそ求められる時代です。名古屋駅前開発、都心部の賑わいづくりは、その前提であるリニアも含めて再検討すべきです。

市民合意もない名古屋城天守閣木造化は中止すべきです。完成年度も示すことが出来ず、建設会社との基本協定書も効力を失いました。今年3月、「特別史跡のき損事件」が明らかとなり、開発・整備を急ぎ、文化財保護がなおざりにされました。現天守は解体ではなく耐震補強を行い、史跡として価値ある石垣保全に全力をつくすべきです。

新型コロナの影響で、ますます厳しくなる市民の暮らしと命を守るため全力を尽くすと決意を述べました。

## 医療センターの市大病院化は性急すぎる

国が進める公立病院の統廃合政策に従い、名古屋市で唯一直営である西部・東部医療センターを廃止し、民間的経営手法が求められる独立行政法人名古屋市立大学付属病院にするものです。



岡田ゆき子議員が、11月議会で反対討論を行いました。その内容を紹介します。

今回の統廃合計画を、新型コロナ感染で市立病院もひっ迫する下で、性急にすすめるべきではありません。

教育・研究を主な目的とする大学病院とちがって差し迫った住民の医療需要に対応する責任がある身近な市民病院を維持する保証がありません。

名古屋市直営の病院を、すべてなくすという重大な組織改編にもかかわらず、市民は全容を知らされないまま進められています。

市民に対し透明性と市政への参画を目的としたパブリックコメント制度まで、病院局は否定しています。

## 新型コロナ危機のもとで急ぐことなのか

9月議会本会議では、田口議員が議案質疑に立ち、問題点を指摘し、市の姿勢をたずねました。

新型コロナ危機によって、政府の医療費削減路線のもと、医療現場から「ゆとり」を奪い、日本の医療の脆弱性が明るみにしました。すべてを市場原理にまかせ、経済効率優先という新自由主義の路線のままでよいのか問われています。

市民病院の職員からは「新型コロナへの対応で、院内の状況は過酷となり、職員の疲労や不安は蓄積されている」という声も上がっています。こんな時に「効率的な業務運営」を努力義務としている大学法人の附属病院化を拙速に進めていいのでしょうか。



田口議員は「市民や職員の十分な議論を尽くすために来年4月という前提を見直す考えはないのか」とたずねました。局長は「議会の委員会への報告で理解された。来年4月に向けて取り組む」と答えました。

## 民間バスも敬老パス利用可能に

名古屋市は11月30日の市議会本会議で、敬老パスの利用対象に、名鉄バスなど民間バスも加える方針を明らかにしました。日本共産党市議団が市民運動と連携して、本会議質問や予算要望などで繰り返し求めてきたものです。

市は2022年2月から、民間鉄道への利用拡大と同時に名鉄バスと三重交通バスでも使えるようにする方針です。

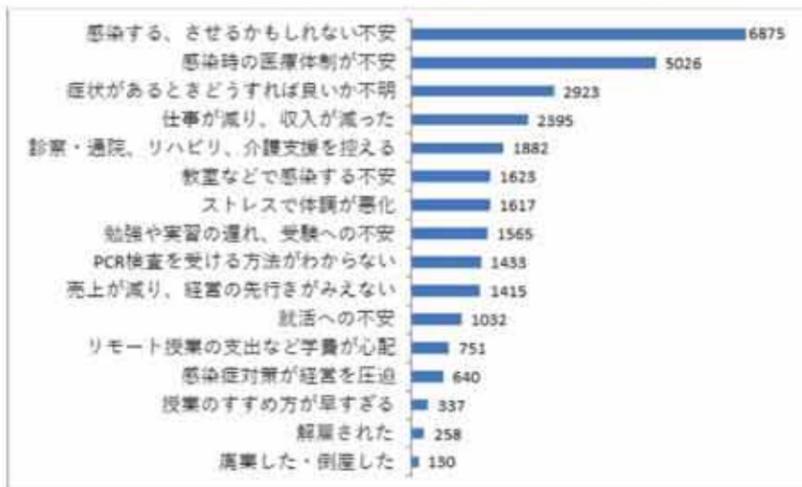
# 13,000通を超える返信

## この声を市政にいかします

日本共産党名古屋市議団は今年10月末から市政アンケートにとりくみ、これまでに13,000通を超える回答が寄せられ、現在も連日回答が届いています。ご協力いただいたみなさんに、心から感謝いたします。現時点での集計内容をご報告させていただきます。

### 新型コロナ

### 感染不安・医療不安 暮らしと雇用・営業に打撃



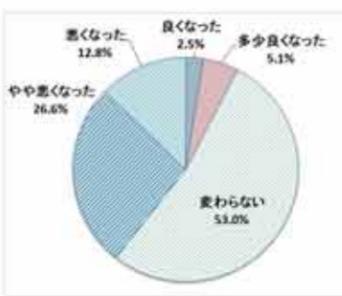
- 「症状が無くてもPCR検査が安く簡単に受けられるようにしてほしい」(北区50代)
- 「東京の世田谷区などPCR検査の拡充に前向きな自治体が羨ましい。検査の拡充、病床の確保、医療機関の支援を進めてほしい」(千種区20代)
- 「老人施設、子育てに関わる施設の職員全員に対して定期的にPCR検査をしてほしい」(名東区70代)
- 「小学生の子どもがいるが、教室に40人もいと密は避けられない。クラスの人数を減らしてほしい」(港区40代)
- 「名古屋の現状を正確に把握したい。河村氏のコロナに対する姿勢が見えない」(緑区50代)
- 「感染した場合、どうしたら良いのかが、いまいわからない。気軽にPCR検査が受けられる様な金額で検査を受けたい」(中村区60代)

### 市政に望むこと 上位20



- 10代・・・①医療体制の充実②給付型奨学金制度の拡大③いじめ問題の解消④国民健康保険料の値下げ/耐震助成など地震対策
- 20代・・・①国民健康保険料の値下げ②医療体制の充実③議員報酬1450万円の引き下げ④耐震助成など地震対策⑤浸水・豪雨・強風対策
- 30代・・・①議員報酬1450万円の引き下げ②国民健康保険料の値下げ③医療体制の充実④学校給食の無償化⑤浸水・豪雨・強風対策
- 40代・・・①議員報酬1450万円の引き下げ②医療体制の充実③浸水・豪雨・強風対策④国民健康保険料の値下げ⑤貧困や児童虐待への対策
- 50代・・・①議員報酬1450万円の引き下げ②医療体制の充実③浸水・豪雨・強風対策④国民健康保険料の値下げ⑤雇用対策の充実
- 60代・・・①議員報酬1450万円の引き下げ②介護保険料・利用料の軽減③国民健康保険料の値下げ④医療体制の充実⑤貧困や児童虐待への対策
- 70代・・・①議員報酬1450万円の引き下げ②介護保険料・利用料の軽減③国民健康保険料の値下げ④高齢者福祉の充実⑤地球温暖化対策
- 80代以上・・・①高齢者福祉の充実②介護保険料・利用料の軽減③議員報酬1450万円の引き下げ④地球温暖化対策⑤国民健康保険料の値下げ

### 暮らし「悪化」が4割



- 「コロナウイルス影響により、勤め先(製造業)の業績が悪化し、給与カット」(昭和区20代)
- 「コロナで収入が激減し、勤務時間や勤務内容が変わったためストレスが強く、休職」(緑区20代)
- 「派遣先から契約満了を言い渡されたが、なかなか次の職場が見つからない」(中区30代)
- 「コロナの影響で夏のボーナスが全額カットされ、冬のボーナスも未だ発表がない」(中川区40代)
- 「コロナの影響で収入が2割減」(港区50代)
- 「定年退職後、再雇用契約社員として働いているが、コロナの影響で業績が悪化し6月より賃金8%カットに」(守山区60代)
- 「消費税の10%はつらい」(北区70代)
- 「物価が少しずつ上がっている」(南区70代)

### 河村市政の評価 「不満」(33%)が「満足」(30%)を上回る

- 「コロナ禍に連携すべき知事に対して市長がリコール運動するのはおかしい」(千種区20代)
- 「給与が低いことを自慢げにしているがサラリーマンからすると家業で儲けている人がなにをいっているのかという感じ」(東区20代)
- 「減税の実感がない」(名東区20代)
- 「減税をクローズアップしているが、市民サービスを低下させては本末転倒」(熱田区60代)
- 「名城は現状ままでいい。改修のみ(耐震工事でいい)」(瑞穂区70代)

